

U5 ヴァージンリバーゴージュ(アリゾナ)

ヴァージンの岩場はアリゾナ州の最北西端に位置する。I-15号をユタあるいはネバダから走って来るとアリゾナ州に30マイルほどだけ入る。その部分だけが荒々しい石灰岩の渓谷になっていてハイウェイのすぐ上にエリアが築かれている(赤茶げていて荒れ果てており見石灰岩には見えない)。ここは90年代始め冬でも登れる第二のアメリカンフォークとしてブーンズピードを中心に開拓された。たしかに冬でも暖かく高難度のルートも揃っている。

しかしここを訪れた多くのクライマーは皆、口を揃えて岩場は面白いが落ち着けないと言う。なぜならハイウェイのすぐ側にある為、車の騒音がとても大きいのである。さらに狭い渓谷内の為、騒音が壁に反射してより一層大きな音になり一度登り始めたらプレイヤーとも会話ができないほどうるさいのである。しかしラスベガスなどに寄ったさいには一度は訪れて見た場所である。

岩質

石灰岩

ルート

ハイウェイと川を挟んで幾つかのエリアが築かれているが、メインとなるのはメンターケイブを中心とする辺りである。ここは大きなケイブになっておりエリアの名前にもなっているメンター5.12bはムーブも面白く特にお進め。ここは比較的難しいルートしかないので中級者以上の人向けのエリアである。そのすぐ左上には高さ25m、傾斜100度のきれいな薄被りのフェイスがある。ここには10本以上ルートがあるが5,13以上しかなく5,14までである。実際この超フィンガリーフェイスが現在はメインエリアとなっている。最難ルートはクリスチャーマによるネセサリーイビル5,14c。とにかく長くエッジをつなげていくフェイス登りなので持久力とフィンガーパワーが必要。

宿泊

ホテルならばネバダ州では、アリゾナとの州境にある町メスキテ。ラスベガスからは1時間強かかる。一番良いのはユタ州のセントジョージが良い。

キャンプ場は岩場とセントジョージに向かう途中のレストエリアの奥にある。多くのクライマーが泊まっているのだがハイウェイのすぐ側なのでかなりうるさく落ち着けない。シャワーがないのでセントジョージのスポーツクラブに浴びに行く。

シーズン

秋から春。冬はエリアとして紹介されているが晴れなければかなり寒い。夏でも曇っていればたぶん登れる。また日陰のエリアもあるので、季節によって上手く使い分けすることも可能。

ショッピング

ユタ州のセントジョージが一番良い。トポはクライミング誌の紹介記事が一番良い。それ以外に南ユタ州のクライミングエリアを紹介したものの中にもでてくる。このトポはなかなか面白くセントジョージ周辺はかなり面白そうなおボリダリングエリアなども紹介されている。

またセントジョージ周辺にはいくつか新しい石灰岩のエリアがありカスケイドと呼ばれる大きなループのエリアは5.12の好ルートが揃っていた。

アプローチ

ラスベガス方向からI-15号を走って来た場合、アリゾナ州に入ると渓谷に入る。1.2マイルほど走った所に橋があり右上にメンターエリアがある。そこに小さな路肩があるがそこに車を止めてはいけない(もし止めた場合、頻繁に通るボリスに下からマイクで怒鳴られる)。車は必ず反対車線側の路肩に止めなければならない。メンターエリアへは路肩に車を止めハイウェイの橋の下をくぐり10分程で着く。対岸のエリアへはチロリアンブリッジで渡らなければならない。クライミングの終わった後のパンプした腕ではかなり登るのがきつらしく、自信のない人は行かない方がよい。